（別添資料１）

事業所名	でいさーびす　あいりんご8	**支援プログラム（参考様式）**	作成日	R7　年　4　月　28　日

法人（事業所）理念	「楽しい・安心できる・使命感」をテーマに重点を置いています。 まず、楽しい気持ちを持つためには、同じ目線に立って自分も一緒に楽しむ。 次に安心できる気持ちを持つためには、もしも相手が自分の家族や友達だったらと思って接することです。 最後に使命感は、“自分だから”“自分しかできない”という気持ちをもって行動する。			
支援方針	楽しい・安心できる・使命感を持った支援 1. 楽しい（Enjoy） ・子どもたちが「また来たい！」と思える環境を提供する。　・個々の興味や得意なことを活かした活動を取り入れ、遊びや学びを通じて成長をサポートする。 ・笑顔とポジティブな関わりを大切にし、スタッフ自身も楽しむ姿勢を持つ。 ・支援活動には遊びやクリエイティブな要素を取り入れ、子どもたちが自然体で関われるようにする。 ・笑顔や対話を大切にし、日々の小さな成功体験を共有・称賛する。 2. 安心できる（Safety & Trust） ・子どもが自分らしく過ごせる「心の居場所」をつくる。　・スタッフは温かく寄り添い、一人ひとりの気持ちに丁寧に向き合う。 ・失敗を恐れず挑戦できる環境作り。　・一人ひとりの違いを尊重し信頼関係を大切にしていく。 ・安全管理を徹底し、保護者も安心できる環境を整える。　・プライバシーの配慮や物理的・心理的な安全確保。 3. 使命感（Commitment） ・子どもたちの未来を支える存在として、成長や自立を後押しする支援を行う。　・一人ひとりの個性を尊重し、可能性を広げる支援を考え続ける。 ・専門性を高め、チームワークを大切にしながら、より良い支援を追求する。　・自己の役割や意味を見出せるような環境づくり。 この3つの柱を軸に、子どもたちの笑顔と成長を支える場所を目指します			
営業時間	9　時　0　分から　18　時　0　分まで	送迎実施の有無	あり（〇）	なし
	支　援　内　容			

本人支援	健康・生活	子どもたちが、日常生活に必要なスキルを無理なく身につけ、健康的な生活習慣を育めるように、以下のような支援を行います。 ・身支度の習慣づけ（衣服の着脱、靴の脱ぎ履き、整理整頓など） ・食事のサポート（スプーンや箸の使い方、食事のマナー、好き嫌いの克服） ・排泄のサポート（トイレの使い方、手洗い習慣）　・リラックスタイムの導入 ・挨拶や会話の練習（「おはよう」「ありがとう」などの基本的なコミュニケーション） ・ルールや順番を守る活動（遊びの中で自然に学ぶ） ・自己表現のサポート（困った時に助けを求める、気持ちを伝える練習）
	運動・感覚	子どもたちが、楽しみながら運動能力や感覚の発達を促し、日常生活での動きや姿勢の安定、自信につなげることを目指します。 ・ボールを投げる、キャッチする、蹴る（ボール遊び、ドッジボール） ・腕や足を鍛える動き（ハイハイ競争、動物歩き） ・空間認知や姿勢の保持を意識するトレーニング（平均台、ストレッチ、ヨガ） ・さまざまな素材に触れる活動（砂遊び、水遊び、粘土、スライム） ・感触の違いを楽しむ（ふわふわ、ザラザラ、ツルツルなど） ・体幹、バランス感覚を養う（転がる、跳ぶ、バランス）　・手先の巧緻性を高める（紐通し、指先遊び、ハサミ、のり、折り紙、運筆）
	認知・行動	認知的な理解力や行動のコントロール力を育み、集団生活の中で自分自身や周囲に配慮できる力を養います。 遊びや日常場面を通じて、注意力・記憶力・順序理解・ルール理解を促します。 ・カード遊び（神経衰弱、絵合わせ）でワーキングメモリを強化 ・間違い探しやパズル遊びで観察力・集中力を高める ・ブロックや積み木で形の認識や空間把握力を育む　・視覚的スケジュール（絵カードやタイマー）で見通しを持たせる ・「あと5分でおしまいね」などの予告で切り替えをスムーズに　・感情カードや表情を使って「今の気持ちは？」と考える練習

<table>
<tr><td></td><td>言語
コミュニケーション</td><td colspan="3">子どもの発達段階に応じた言語発出・理解を促進し、身近な人とのやりとりを楽しめる力を育てます。
日常生活や遊びの中で、言葉で気持ちや要求を伝えられるよう支援します。
・「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」などの挨拶を習慣化
・「〇〇が好き！」「〇〇したい！」と自分の気持ちを伝える練習
・「この子はどんな気持ち？」と表情カードを見て考える練習
・子どもに合わせた伝え方を尊重し、「伝わった！」という体験を大切にする
・ロールプレイ（お店屋さんごっこ、病院ごっこ）で会話のやりとりを体験
・絵カード、ジェスチャー、写真などを用いて意思を伝える支援</td></tr>
<tr><td></td><td>人間関係
社会性</td><td colspan="3">他者との関わりを通して基本的な社会性（挨拶・順番・やさしさ・ルール理解）を身につけ安心して集団の中で過ごせる力を育む。
対人関係の基礎を遊びの中で学び、喜びや安心感を得られるように支援する。
・「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」などの基本的なあいさつを練習
・握手やお辞儀など、場面に応じた礼儀を学ぶ
・目を見て話す、相手の話を聞く習慣をつける
・「〇〇くんにボールを渡そう」など、自然なかかわり方を促す声かけ
・ペアやグループでの遊びを取り入れ、協力する経験を増やす
・みんなでひとつの作品を作る活動（大きな絵を描く、共同制作など）</td></tr>
<tr><td colspan="2">家族支援</td><td>・食事や着替えの練習方法を伝え、無理なく習慣化できるよう支援
・兄弟姉妹との関わり方をサポートし、家族全体の関係性を良好に保つ支援
・保護者が一人で抱え込まないよう、支援機関や地域のリソースを紹介
・保護者の意見や要望を取り入れながら、支援内容を調整
・発達の見通しや支援の方向性を丁寧に話し合いながら共に考えていく姿勢を大切にする。
・家庭と連携しながら、子どもの「できた！」を増やしていく
・送迎時や連絡帳・面談などを通じて、子どもの日々の様子や成長を共有
・家庭での様子や困りごとを丁寧に聞き取り、必要に応じて助言・情報提供を行う。</td><td>移行支援</td><td>・「先生の話を聞く」「順番を待つ」などの基本的な集団行動の練習
・ランドセルの開け閉め、机の整理整頓など、小学校で必要なスキルを身につける
・学校の行事（運動会・発表会など）を想定した体験活動を実施
・着替え、靴の脱ぎ履き、持ち物の管理など、学校生活に必要なスキルの練習
・お弁当や給食での食事の練習（配膳、お箸の使い方、食べるペースの調整）
・トイレの使い方（学校では個室が多いので、その環境に慣れる）
・友だちとの会話の仕方やルールを遊びの中で学ぶ（相手の話を聞く、順番を守る）
・トラブルが起きたときの対処方法を練習（言葉で伝える、先生に相談する）
・自分のことは自分でやってみる機会を増やし、成功体験を積んでいく。
・移行先の学校・施設と連携し、支援記録や発達の状況を共有
・他機関連携による「切れ目のない支援体制」を構築</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域支援・地域連携</td><td>・公園など、地域の施設を訪れ、公共の場でのルールやマナーを学ぶ
・消防署や警察署を訪問し、緊急時の対応や防災について学ぶ
・防災訓練や地域安全活動に参加し、災害時の対応を学ぶ
・SNSやホームページを活用し、支援の取り組みや子どもたちの成長の様子を発信
・地域の支援機関と連携し、家庭が使える支援サービスの情報を提供。
・子どもが家庭・学校・地域で一貫した支援を受けられるようにする。
・地域社会の理解を深め、障害のある子どもたちが安心して暮らせる環境を作る。
・他機関連携による「切れ目のない支援体制」を構築</td><td>職員の質の向上</td><td>・ 職員同士で学び合う社内研修
・ 外部研修への参加促進（発達障害、感覚統合、行動支援、虐待防止、家族支援など）。
・ 「子どもと一緒に楽しむ」ことを大切にする文化をつくる（職員もイベントに積極参加）。
・ 「支援のプロ」としての自覚を高め、専門性を深める環境を整備。</td></tr>
<tr><td colspan="2">主な行事等</td><td colspan="3">・初詣・節分・運動会・遠足・クリスマス会・全事業所合同活動など</td></tr>
</table>